



国民の森林・国有林

岩手南部森林管理署遠野支署のあらまし 令和7年度管内概要



林野庁東北森林管理局
岩手南部森林管理署遠野支署

目次

1	管内の概要		
2	森林計画と機能類型区分		2
3	機能類型に応じた国有林野の管理経営		3
4	保安林と治山事業		5
5	森林整備と木材の安定供給		6
6	国有林野の管理		7
7	地域振興への寄与～地域社会との連携・協働～		8
8	国民に開かれた国有林		10
9	管内の名山		11
10	管内の景勝地		12
11	数字で見る岩手南部森林管理署遠野支署		13
12	岩手南部森林管理署遠野支署の組織機構		15
13	森林事務所・担当区の紹介		16
14	岩手南部森林管理署遠野支署の沿革		17



遠野市街地夕景



大迫町中心部、早池峰山、稗貫川
(向山森林公園から)

1 管内の概要

岩手南部森林管理署遠野支署（以下「当支署」とします。）では、北上川中流域森林計画区内の遠野市及び花巻市（旧稗貫郡大迫町及び旧和賀郡東和町の区域に限る。）に位置する36,364haの国有林野の管理経営を行っています。

当支署の管内は北上高地の中央部に位置し、北側の早池峰山を最高峰として、標高300m～700mの高原群に東南北の方向を囲まれており、その中を、早池峰山を源流とする稗貫川と薬師岳を源流とする猿ヶ石川が、それぞれ北上川への合流点に向けて、支流を集めながら山々を縫うように西流しています。

管内の国有林野は流域の水源域に位置するため、その約7割が水源かん養保安林に指定されているほか、早池峰山周辺森林生態系保護地域などの保護林や北上高地緑の回廊が設定されており、生物多様性の保全など、森林の有する公益的機能を高度発揮することが期待されています。

また、管内国有林における人工造林の歴史は明治時代中期にさかのぼり、戦前はヒノキの造林が盛んに行われました（遠野ヒノキ）。戦後はカラマツ(42%)、スギ(34%)及びアカマツ(15%)の造林が行われ、特に、カラマツの比率が高いのが特徴的です。

岩手南部森林管理署遠野支署管内図



凡 例	
	国有林
	森林管理署・支署
	森林事務所

2 森林計画と機能類型区分

(1) 森林計画の策定

国有林野の管理経営は、森林管理局長が森林法に基づき定める「国有林の地域別の森林計画」及び国有林野の管理経営に関する法律に基づき定める「地域管理経営計画」に基づき行います。

国民に開かれた国有林野の管理経営を担保していくため、これら計画の策定の際には、公告、縦覧等により国民の皆さんや関係機関・団体の意見を、あらかじめ聴取して計画に反映するよう努めています。

(2) 現行計画

○北上川中流国有林の地域別の森林計画（北上川中流森林計画区）

策定者 東北森林管理局長

計画期間 令和5年4月1日から令和15年3月31日まで

主な計画事項 森林の整備及び保全に関する事項

○第六次地域管理経営計画（北上川中流森林計画区）

策定者 東北森林管理局長

計画期間 令和5年4月1日から令和10年3月31日まで

主な計画事項 ①国有林野の管理経営、②国有林野の維持及び保存、③林産物の供給、④国有林野の活用、⑤公衆の保健、⑥公益的機能維持増進協定に基づく林道の開設その他国有林野との一体的な民有林野の整備保全、⑦国民参加による森林づくり、⑧その他

(3) 国有林野の機能類型区分

林野庁では、国有林野を重点的に発揮させる5つの公益的機能に応じて区分し、公益林としての管理経営を推進しています。

具体的には、森林計画に基づいて個々の国有林野を「山地災害防止タイプ」、「自然維持タイプ」、「森林空間利用タイプ」、「快適環境形成タイプ」及び「水源涵養タイプ」に区分し、その機能を維持増進する管理経営に努めています。

R3. 4. 1時点 R5. 4. 1時点

機能類型 (タイプ)区分	管理経営の考え方	面積(上)・比率(下)	
		全国	遠野支署
山地災害防止タイプ	根や表土の保全、下層植生の発達した森林の維持	147万ha 19%	3,237ha 9%
自然維持タイプ	良好な自然環境を保持する森林、希少な生物の生育・生息に適した森林の維持	171万ha 23%	7,049ha 19%
森林空間利用タイプ	保健・文化・教育的利用の形態に応じた多様な森林の維持・造成	46万ha 6%	748ha 2%
快適環境形成タイプ	汚染物質の高い吸着能力、抵抗性がある樹種から構成される森林の維持	0.2万ha 0%	該当なし
水源涵養タイプ	人工林の間伐や伐期の長期化、広葉樹の導入による育成複層林への誘導等を推進し、森林資源の有効活用にも配慮	393万ha 52%	25,330ha 70%

遠野支署管内国有林野の機能類型別割合

水源涵養タイプ

70%

山地災害防止タイプ

9%

自然維持タイプ
19%

森林空間利用タイプ
2%

3 機能類型に応じた国有林野の管理経営

当支署では、管内国有林野を次の4つの機能類型に区分して目的とする機能の維持増進に向けた管理経営を行っています。

(1) 自然維持タイプ（保護林、緑の回廊等）

自然維持タイプの森林については、「森林生態系保護地域」や「希少個体群落保護林」などの保護林や「緑の回廊」に設定するなどして、森林生態系の維持・保全に努めています。

ア 早池峰山周辺森林生態系保護地域(3,543.85ha)

早池峰山周辺は、超塩基性の蛇紋岩地域と非蛇紋岩地域に大別される基岩の相違により対照的な植物相となっています。標高600～1,100mにはヒノキアスナロ（青森ヒバ）やブナなどが優占し、標高1,100m～1,500mにはコメツガ、アオモリトドマツが優占しキタゴヨウも点在しています。

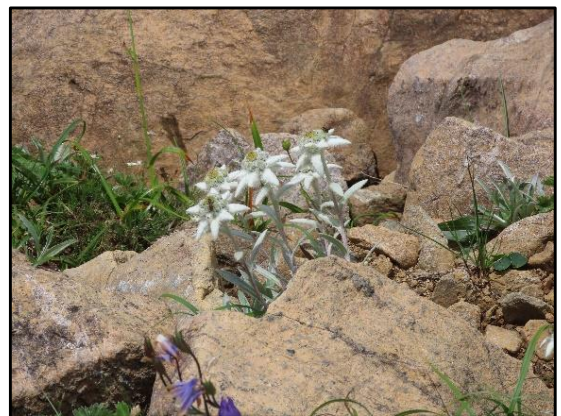
早池峰山北面（三陸北部森林管理署管内）には小面積ながら特別天然記念物「アカエゾマツの自生南限地」があります。また、高山植物の宝庫でもありハヤチネウスユキソウ、ナンブトウウチソウ、ナンブトラノオといった固有種や多くの希少種を見ることができます。

このような地域の原生的な天然林を保存し、森林生態系からなる自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源を保存すること等を目的として平成5（1993）年に森林生態系保護地域を設定しました。

なお、早池峰山及び周辺地域は、早池峰国定公園、自然環境保全地域、特別天然記念物にも指定されています。



ナンブトウウチソウ



ハヤチネウスユキソウ

遠野支署管内の保護林

種 類	名 称	面 積	選 定 事 由 等
森林生態系保護地域	早池峰山周辺森林生態系保護地域	保存地区 2,203.08ha 保全利用地区 1,340.77ha ※この面積は当支署管内分のみ	森林生態系からなる自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存等
希少個体群保護林	琴畑湿原ハルニレ遺伝資源希少個体群保護林	 17.00ha	この地域のハルニレやミズナラを遺伝資源として保護する。
	野沢額山(のざわびたいやま)キタカミヒョウタンボク希少個体群保護林	 25.34ha	北上高地にのみ局地的に自生するキタカミヒョウタンボクの群生地を自然の推移に委ねて保護する。

イ 北上高地緑の回廊

北上高地では保護林と保護林をつなぐ「北上高地緑の回廊」が平成13（2001）年に設定されました。緑の回廊は、保護林と保護林を連結し、連続した自然林を回復することにより、分断された個体群の相互交流や生物多様性の保全等を目的としています。

北上高地緑の回廊は、北上山地の分水嶺沿いに約2kmの幅で設定されており、早池峰山周辺森林生態系保護地域を核として、北は平庭岳から南は毛無山に至る延長約150kmに及び、当支署管内では北上山地で最も高層湿原的要素が多い猿屋裏湿原も含まれます。

名 称	延 長	面 積	特 徴 等
北上高地緑の回廊	43km	5,402.10ha	北上高地沿いの保護林を連結することにより、森林の連続性を確保し、森林生態系と生物多様性の保全等を図る。



【猿屋裏湿原】

北上高地緑の回廊内83林班にあり、北上山地の湿原のうちで、もっとも高層湿原的要素が濃く、モウセンゴケ、コバイケイソウ、ミカヅキグサ等の植物群落を有しています。

（２）森林空間利用タイプ

滝や溪谷、湿原や湖沼等の自然の景観美を楽しむことができる森林で、レクリエーションや森林教育に適しています。現在、当支署管内にはレクリエーションの森の設定はありませんが、景勝地や地域の遺産として自治体が散策路等を整備している森林があります（P12:「10 管内の景勝地」を参照）。

（３）山地災害防止タイプ

土砂の流出、崩壊、その他山地災害による被害への防備等、災害に強い国土の形成に係る機能を重点的に発揮すべき森林です。根がよく発達するとともに、常に落葉層を保ち、適度な陽光が入ることによって下層植生が良好に発達した森林として管理し、必要に応じて治山施設等を整備します。

管内では、遠野市東部の六角牛山から仙人峠にかけた区域の森林が、このタイプの森林となっています。このタイプの森林は、必要に応じて土砂流出防備保安林や土砂崩壊防備保安林に指定されます。

（４）水源涵養タイプ

当支署管内は、農業用水や生活用水の水源地域に位置していることから、管内国有林野の7割が、このタイプの森林として区分されており、その大部分が水源かん養保安林に指定されています。また、このタイプの森林では、適切な森林の整備を通じて持続的な木材生産を行い、木材の安定供給に努めています。



高清水展望台から（松崎町）



遠野という地名は、アイヌ語のトオ・ヌップ（湖のある土地）に由来するとも言われ、周囲の森林が育む豊かな水が遠野盆地を潤してきました。

4 保安林と治山事業

(1) 保安林

森林の有する公益的機能を特に発揮させるべき森林は、農林水産大臣が森林法に基づき保安林に指定して、立木の伐採や土地の形質の変更を制限しています。

当支署が管理する国有林野の約8割にあたる30,354haが保安林で、次の3種類が指定されています。



ア 水源かん養保安林（1号）

林内植生や森林土壌により、水の流出を平準化することで渇水や洪水を緩和するとともに、水質や水温を良好に保つなどの水源涵養機能を発揮させることを目的とする保安林です。流域への安定した水供給は、森林とダムがそれぞれの役割を発揮することで確保されています。

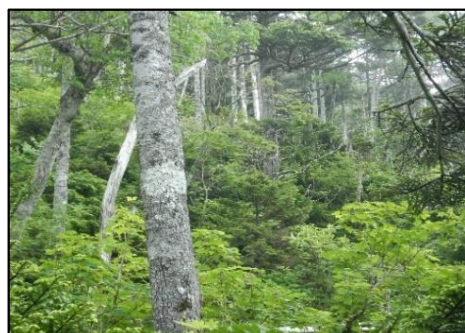
イ 土砂流出防備保安林（2号）

樹木の根が土壌に張り巡らされ、落ち葉や下草が地面を覆うことで、雨などによる表土の浸食、土砂の流出・崩壊を防ぎます。

ウ 保健保安林（10号）

登山や森林浴などの自然環境の豊かさを満喫する場の提供や、気象条件の緩和、騒音や粉塵による被害の軽減などの生活環境保全を目的に指定されています。

当支署管内の国有林野では、自然環境の豊かさを満喫する場として早池峰山の登山道周辺が指定されています。



水源かん養保安林
(猿ヶ石川源流地域)



土砂流出防備保安林
(六角牛山南側斜面)



保健保安林
(小田越登山道)

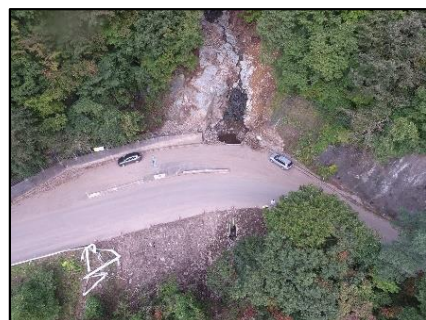
(2) 治山事業

山地災害の防止、水源の涵養等、公益的機能の発揮が特に必要な保安林等において、治山施設の設置や機能の低下した森林の整備等を行う治山事業を実施しています。

平成28年の台風10号で土砂災害が発生した遠野市青笹町の笛吹地区において、岩手県道35号釜石遠野線への土砂流出を防ぎ、通行の安全を確保する目的で平成29年度から令和2年度までの4年間に於いて復旧治山工事（5工区）を実施しました。



平成28年台風10号災害発災当時



治山施設の整備

5 森林整備と木材の安定供給

(1) 森林の整備

伐採跡地の地拵え、新植、下刈、除伐、保育間伐等の森林整備事業を実施するとともに、利用可能な樹齢に達した森林については、木材生産を伴う間伐による森林整備を行っております。

また、生産性の向上と低コスト化を図るため、コンテナ苗や大苗の導入、低密度植栽、筋刈り、列状間伐、複数年にわたる長期契約等を行っています。

(2) 木材の安定供給

地域の林業・木材産業を育成するため、製品（丸太）販売や立木販売等を通じて、木材の安定供給に努めています。製品販売については、原木を一般材、合板材、低質材等に区分し、安定供給システム又は委託公売により販売しています。立木については、当支署で公売を行っています。

また、林地残材等は、申し出に応じて副産物として販売しています。



下刈後の造林地



列状間伐後のスギ林



巻立（丸太のはい積み）作業

(3) 林道の整備

森林の整備、木材の搬出・運搬等を行うために、林道や土場は不可欠な基盤施設であり、林道の維持・管理や森林経営に必要な林道の新設・改良を着実に実施しています。

さらに、鉄鋼スラグ舗装など、新たな資材・技術の導入も行っています。



整備された林道



鉄鋼スラグによる簡易舗装



山元土場（原木のストック・ヤード）

(4) 生産性の向上やICT技術の導入

林業経営の採算性の向上に向けて、有利採材、生産・造林一貫作業、列状間伐、低密度植栽等の現地検討会への参加や労働基準監督署と連携した労働災害防止会議の開催などを行っています。

また、ICT新技術の導入として全天球カメラやドローンの業務での活用を進めています。



採材現地検討会



労働災害防止会議



ドローンで撮影した早池峰山崩壊地

6 国有林野の管理

(1) 境界の保全

当支署の国有林野の境界線は、点数18,521点、延長641km（令和4年度末）に及びます。境界線への草木の繁茂や境界標の滅失等を防ぎ、民有地等との境界を適正に保全・管理をするため、森林官等が巡検、巡視、検測等を実施しています。当支署管内の境界には、かつて帝室林野局が設置した境界標が数多く使用されており、国有林野の「山」印に対して、御料林を示す「宮」印が刻まれています。また、管内の旧御料林の境界には防火線として築かれた土塁が残っています。



「山」印の境界標 山印側が民有地



「宮」印の境界標 宮印側が民有地



旧御料林の境界土塁

(2) 山火事警防

山火事による森林資源の焼失を防ぐため、消防機関・消防団と連携・協力して山火事警防に取り組んでいます。

特に、林内が乾燥する雪融けから下草が生えるまでの期間を山火事危険期と位置づけて、山火事防止パレード等の啓発活動や「背負式消火水のう」等の車両掲載などを実施しています。



背負式消火水のうでの鎮火活動



コナラ分収造林地



スギ分収造林地

(3) 分収林・共用林野制度

国有林野事業では、将来の木材販売による収益を分け合うことを前提に、契約者が苗木を植えて育てる分収造林や、契約者が費用の一部を負担して国が森林を育てる分収育林を通じて、国民参加の森林づくりを進めています。当支署管内の令和5年度末の設定面積は、分収造林が259件で約1323ha、分収育林が2件で約9haとなっています。

共用林野制度は、国有林野の一部に地元住民を対象として自家用林産物の採取等を目的とした共同利用を認めるものです。当支署管内では、5件5,068haの設定があります。

(4) 国有林野の貸付け・使用許可等

国有林野事業では、農林業を始めとする地域産業の振興や地域住民の福祉の向上等に貢献するため、地方公共団体や地元住民等に対して、国有林野の貸付けを行っており、当支署管内では、主に公共用や公益事業用に、令和6年度末で224件、約932haの貸付け等を行っています。

また、国有財産の高度利用と地域振興への寄与の観点から、業務に支障のない範囲で庁舎の会議室や駐車場等を、地方公共団体等の会議やイベントの際の使用に供しています。

7 地域振興への寄与～地域社会との連携・協働～

(1) 早池峰山周辺地域の森林環境保全

早池峰山周辺地域は、複数の行政機関の管轄地域にまたがっているため、関係機関・団体と密接に意思疎通し連携していくことが大切です。当支署も早池峰国定公園地域協議会及び早池峰地域保全対策事業推進協議会等に参加し、岩手県、花巻市、遠野市、宮古市、岩手県警等と連携し、自然環境の保全、高山植物の保護、移入植物の駆除、ニホンジカによる生態系被害対策等に取り組んでいます。

特に、早池峰山周辺森林生態系保護地域においては、踏み荒らしによる植生の荒廃や盗掘等を予防して森林生態系を保護するため、当支署員による巡視のほか、グリーン・サポート・スタッフ（森林保護員：通称GSS）2名を配置して、夏山シーズンを中心に巡視を行い、岩手県の自然公園保護管理員等とも密接に連携・協力して、登山マナーの啓発、登山道の補修等の活動を行っています。

また、早池峰山周辺地域でもシカの生息頭数が増加しており、高山植物への食害など生態系被害も確認されていることから、平成30年度から、岩手県と連携し、高山植物をシカによる食害から保護するためのネット（植生保護柵）の設置を行っており、令和元年6月には、岩手県環境生活部、三陸北部森林管理署及び当支署の三者で当該ネットの設置を円滑に行うための協定を締結しています。



植生保護柵設置作業（令和7年5月設置）

薬師岳の
ヒカリゴケ



移入植物
の駆除活動

(2) 鳥獣被害対策への取組

関係自治体・団体と連携し、シカによる生態系・農林業被害の防止対策に取り組んでおり、委託事業による捕獲を実施しているほか、平成30年には遠野市及び遠野猟友会との3者で、令和元年には花巻市有害鳥獣被害防止対策協議会との間で「ニホンジカ等被害対策協定」を締結し、バネなくくりワナ「いのしか御用」等の貸与や捕獲支援のための林道除雪等を行っています。

令和4年からは、職員や請負事業体職員が、事業実施のついでにワナの見回りを行う「国有林の見回り隊」が発足しました。

また、造林地を保護するため、平成27年度からは植付け後5年以内の造林地においてシカ食害対策剤の塗布やチューブによる単木防除を行っています。



見回り隊
の講習会



シカによる出現

(3) 松くい森林病虫害対策について

松くい虫被害防止対策では、県、市及び研究機関と連携した防除対策が必要であるため、県南広域森林病虫害被害対策連絡会及び遠野地区森林病虫害被害対策連絡会の中で被害状況を共有し、被害の先端地域における監視体制の強化を連携して行っています。

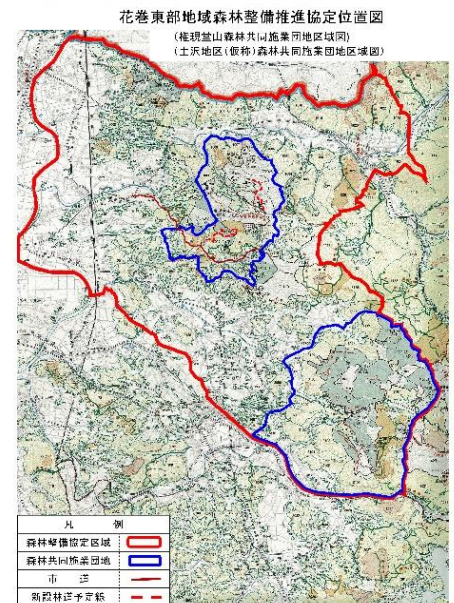
毎年、被害が蔓延している宮守、大迫地区の防除を行ってきましたが、令和4年度に、これまで未被害地であった東禅寺地区の国有林で新たに被害木が発見されたこともあり、今後も監視体制を強化し、関係機関との連携を図りながら被害拡大防止に努めていきます。

(4) 森林整備推進協定に基づく民国連携による森林整備

平成30年4月に、花巻市、花巻地方森林組合、岩手南部森林管理署及び当支署の4者間で、「花巻東部地域森林整備推進協定」を締結しました。

この協定は、花巻市東部の民有林と国有林野の計6,984haの森林を対象区域として、その中に森林共同施業団地を設定し、民有林と国有林が一体的に効率的な間伐や路網整備等を行うものです。また、協定に基づき定期的に運営会議を開催し、参加機関・団体が連携して具体的な森林整備に取り組んでいます。

令和2年6月には変更協定を締結し、当初の権現堂山森林共同施業団地に加えて、土沢・小山田森林共同施業団地を設定しました。この協定は、令和4年度末に協定期間を5年間延長（令和10年3月31日まで）しており、引き続き連携した森林整備を行っていきます。



協定締結式 平成30年4月20日

(5) 協同組合森林のくに遠野・協同機構との連携等

遠野地域木材総合供給モデル基地（遠野市内青笹町・木工団地）に参加する事業者等は、「協同組合森林のくに遠野・協同機構」を組織し、上下流連携による遠野式・循環型林産業システムの構築に取り組んでおり、同機構と当支署も含む関係機関・団体による月例会議を開催して、地域林業・林産業の振興に向けた連携と情報共有に努めています。

また、遠野市、岩手県遠野農林振興センター及び遠野地方森林組合とともに「遠野地域森林・林業行政連絡会」を開催し、課題の明確化や解決に向けた取組をしています。

(6) 不法投棄防止への取組

林道の沿線などの森林への廃棄物（古タイヤ、大型家電製品等）の不法投棄を防止するとともに、不法投棄された廃棄物による環境汚染を防ぐことを目的として、平成17年度から毎年度、遠野市、岩手県、森林組合、警察、消防、森林ボランティア等と連携し不法投棄物のクリーン活動と不法投棄対策に取り組んでいます。

また、毎年4月に開催される「田瀬湖一斉清掃・ごみ川柳大会」には、実行委員会の構成機関として、多数の流域市民とともに参加し、市民協働・流域連携による田瀬湖の環境保全に取り組んでいます。



不法投棄物クリーン活動（令和6年8月）



田瀬湖一斉清掃（令和7年4月）

8 国民に開かれた国有林

(1) 遊々の森

林野庁では、児童・生徒などが実際の緑に触れ、遊び、学び、体験するフィールド「遊々の森」として学校等との協定に基づき国有林を提供しています。平成25年7月に、遠野市及び特定非営利活動法人遠野エコネットとの間において遊々の森における体験活動に関する協定を締結し、森林再生活動のフィールドとして設定し、その活動にも協力しています。

名 称	協 定 先	実施内容
琴畑水源遊々の森	遠野市、 (特非) 遠野エコネット	水源地域の牧野跡地を森林に再生
オッホーの森	(特非) 遠野エコネット	自然観察を通じた森林環境教育



オッホーの森の家（附馬牛町）



土淵小学校植樹体験 令和7年5月

(2) 森林・林業の普及啓発活動

地域の緑化行事、小学校の授業の一環としての森林教室や植栽体験、一般の方を対象としたイベントなどを通じて、森林・林業の普及・啓発活動を実施しています。また、近年では遠野市内の児童館の依頼を受けた森林教室なども行っています。

○ 夏の田瀬湖イベント

北上川統合ダム管理事務所田瀬ダム管理支所及び電源開発株式会社東和電力所との共催による「田瀬ダム・森林探検隊」を実施し、田瀬湖周辺の森林を学びながら、森林と水の関係など森林が果たしている公益的機能の重要性などを伝えています。



○ 遠野市緑化祭「里山フェスタ」

遠野市、岩手県遠野農林振興センター、遠野地方森林組合等と実行委員会を組織して、遠野市緑化祭「里山フェスタ」を毎年度開催し、多くの市民の参加を得ています。

令和7年度の「里山フェスタ2025」は、宮守町の市有林で一般参加者や森林愛護少年団など総勢約400名の参加により開催となりました。

なお、遠野市内の小学校全11校には森林愛護少年団が組織されており、緑化祭などの行事を通じて森林・林業行事に積極的に参加しています。



9 管内の名山

最高峰である早池峰山をはじめとする管内国有林野の名山を御紹介します。

(1) 遠野三山（早池峰山、六角牛（ろっこうし）山、石上山）

遠野盆地の周囲に位置している早池峰山（1,917m）、六角牛山（1,293m）、石上山（1,037）は、遠野では、「遠野三山」と言われています。それぞれの山には三姉妹の女神がおり、早池峰山には三女、六角牛山には長女（あるいは次女とも。）、石上山には次女（あるいは長女とも。）と伝わります。

なお、三山全てを見渡することができる地点は、遠野盆地内でも非常に限られます。



早池峰山（日本百名山）



六角牛山



石上山

(2) 薬師岳

薬師岳（1,645m）は、早池峰山の南側に対峙するように鎮座する花崗岩の山で、ピラミダルな山容が特徴です。山中にはヒカリゴケの自生地があり、山頂付近はハイマツやシャクナゲで覆われ、花崗岩の巨石が多数露出しています。南側斜面上部に猿ヶ石川の源流があります。小田越からの登山道のほか附馬牛町の大野平から又一の滝を経由する登山道（健脚向け）があります。



薬師岳

(3) 砥森山（ともしさん）

砥森山（669m）は、遠野市宮守町と花巻市東和町の境に位置します。北峰（669m）と南峰があり、南峰には宝剣が祀られ田瀬湖を一望することができます。山の名は砥石が産出することに由来し、宮守町と向田瀬地区の両側に登山道があります。



砥森山

(4) 鶏頭山と七折の滝

鶏頭山（1,445m）は早池峰山から西に連なる稜線上にある静かな山で、花巻市大迫町の岳集落から尾根沿いの登山道と、折合沢経由の登山道があり周回できますが健脚向けです。折合沢ルートの中腹には七折の滝があります。50mの高さから落ちる水流が、岩にぶつかり、水しぶきとなり幾重にも折れて注ぐ光景は絶景です。「ヒョングリ」と呼ばれる水が大きく飛び跳ねた姿が特徴です。

七折の滝



(5) 物見山

物見山（916m）は、遠野市街地の南側に位置し、その大きな山体は市内各所で視野に入ります。かつては遠足やうさぎ狩りなどのレクリエーションの場として市民に親しまれていました。北西から南東に延びるなだらかな主稜線上には、電波・通信施設等が設置されており、鍋倉山から山頂へと至る管理道が設置されています。

(番外編) 鍋倉山

標高344mの市内屈指の桜の名所。支署正面玄関から仰ぎ見れば、つい登りたくなる「支署の裏山」です。中央一帯には16世紀に築城された鍋倉城跡があり、約千本の桜や広葉樹が植栽され、現在は鍋倉公園として親しまれています。令和5年に国史跡指定されました。三の丸跡には天守閣を模した展望台が建てられ城下町の風情を残した遠野市街地を一望することができます。

10 管内の景勝地

(1) 又一の滝

上空より

猿ヶ石川の水源域、薬師岳の南面にある又一の滝は、高さ20m、幅5mの滝で、滝の上には巨大な一枚岩の平らな川床が長く続いています。遠野遺産「又一の滝とお不動さま」として登録されています。遠野市附馬牛町の大野平にある馬留から徒歩30分です。橋が流されている場所があるので沢の横断には注意して下さい。



(2) 重湍溪(ちょうたんけい)

遠野市附馬牛町にある猿ヶ石川の溪谷で、巨大な花崗岩が階段状に侵食されて、いくつもの畳を敷いたように連なっています。釜石線全線開通記念として公募された沿線八景にも選定されており遠野遺産にも登録されています。

周辺の森が国有林で、初夏の新緑、秋の紅葉と美しい溪谷美を堪能できます(道路は冬季通行止めです)。



(3) 琴畑溪流

遠野市土淵町にある自然の姿が残されたままの緑豊かな美しい溪流。釣りの季節にはイワナやヤマメを求めて多くの太公望が訪れます。見所は落差4mの段瀑「白滝」とそのほとり、白滝神社の眼光鋭い「白滝不動尊」。「琴畑溪流と白滝不動尊」も遠野遺産として登録されています。

(4) 貞任水芭蕉群生地

遠野市土淵町にある貞任高原の湿原には、ミズバショウ群落が広がっています。遠野遺産「貞任水芭蕉群生地」として登録されています。なお、現在はシカ被害対策の電気柵が設置されているため木道を歩くことはできません。



重湍溪

(5) 藤沢の滝

遠野市小友町にある藤沢の滝は、長野川の支流、藤沢川上流の溪流にある大小48の滝の総称で、様々な滝と広葉樹林が織りなす溪谷美が見応えあり、遠野遺産「藤沢の滝と應瀧神社」として登録されています。

歩道は、足場が悪いところもあり、急な仮設の階段などもあるので通行には十分に注意して下さい。

(6) 田瀬湖周辺

遠野市宮守町から花巻市東和町田瀬地区に広がる田瀬湖は、建設省が国直轄第1号として建設した田瀬ダムにより猿ヶ石川を堰き止めて造った湖です。湖の周辺には、東和B&G海洋センターや柏木平レイクリゾートなどの親水・リゾート施設があり、夏には、湖面に映る花火の美しさで人気の「田瀬湖湖水まつり」などのイベントが開催されます。

(番外編) 高清水展望台

標高797m。遠野三山の一つ「石上山」の麓、高清水高原にある「天空の展望台」で遠野盆地が一望できる絶景スポット。春は田植え前の水鏡が湖面のように輝きます。9月下旬から10月の早朝に、盆地一面を覆う雲海が有名です。別名「遠野小富士」と呼ばれる六角牛山から昇る朝日を浴びて雲海全体が黄金色になる光景は、近年写真家の間で垂涎の的です(道路は冬季通行止めです)。



11 数字でみる遠野支署

(1)基本指標

○国有林野管理面積（R7年4月）

単位:ha

担当区	国有林野面積	市町村内訳	
		遠野市	花巻市
土淵	6,599.98	6,599.98	—
上郷	4,792.00	4,792.00	—
附馬牛	12,119.82	12,119.82	—
大迫	4,908.60	—	4,908.60
宮守	4,992.48	4,122.74	869.74
達曽部	2,951.37	1,809.29	1,142.08
管内計	36,364.25	29,443.83	6,920.42

○境界

区分	延長(km)	点数
第1種境界	37.1	1,503
第2種境界	603.9	17,018
計	641.0	18,521

○人天別面積・蓄積量（R7年4月）

区分	面積(ha)	蓄積(千m3)
天然林	12,974	2,078
人工林	20,692	3,682
その他	2,698	
計	36,364	5,912

○国有林野率（R5年4月）

区分	土地面積(km2)	国有林野面積(km2)	国有林野率(%)
支署管内	1,230	364	30
遠野市	826	294	36
花巻市東部	404	69	17

○分収林・共用林野

単位:ha

区分	件数	面積
分収造林	259	1,323.25
分収育林	2	8.63
普通共用林野	5	5,068.16

○貸付地

区分	使用承認	使用許可	有償貸付	無償貸付
件数	15	18	73	118
面積(ha)	10.37	3.79	766.13	151.71

○保安林面積（括弧内は1号と10号の重複指定面積）

単位:ha

区分	水源涵養(1号)	土砂流出防備(2号)	保健(10号)	総計
面積(ha)	27,879.20(453.62)	2,468.35	6.37(453.62)	30,353.92

○治山施設

区分	谷止工	床固工	鋼製ダム	堰堤	山腹工	総計
施設数	46	6	1	23	18	94

○林道

区分	森林基幹道	森林管理道	総計
路線数	18	67	85
延長(m) (うち国有林内延長)	77,811 (72,799)	189,702 (176,766)	267,513 (249,565)



雲海と六角牛山

(2)令和7年度事業量

○収穫量

単位:m3

区分 年度	総 数	主 伐			間 伐		
		総 数	針葉樹	広葉樹	総 数	針葉樹	広葉樹
R6(実績)	63,398	15,179	12,081	3,098	48,219	39,734	8,485
R7(予定)	120,065	72,103	53,087	19,016	47,962	44,257	3,705

○立木販売

単位:m3

区分 年度	販 売 量		
	総 数	針葉樹	広葉樹
R6(実績)	12,618	9,664	2,954
R7(見込み)	72,103	53,087	19,016

○製品(丸太)の生産

単位:m3

区分 年度	生 産 量		
	総 数	針葉樹	広葉樹
R6(実績)	26,451	25,071	1,380
R7(予定)	30,000	27,771	2,229

○造林

【R6(実績)は、R5越材を含めず】

区分 年度	新植 (ha)	保 育 (ha)			歩道修理 (km)
		下 刈	つる切り	除 伐	
R6(実績)	84.89	244.73	—	0.00	—
R7(予定)	54.87 (改植込み)	233.74	—	48.39	—

○松くい虫防除

単位:m3

区分	伐倒駆除	枯損木処理	備 考
R6(実績)	44.03	—	
R7(予定)	0	—	

○林道

区分	自 動 車 道		
	新設(m)	改良(m)	維持修繕(km)
R6(実績)	450	0	100
R7(予定)	1,070	0	100



鍋倉山からの支署と鍋倉山の夜桜

12 遠野支署の組織機構

支 署 長 ☆
田村 喜信

☆は司法警察員に指定される職

森林技術指導官 ☆

森林情報管理官

地域技術官

【総務グループ】 総括事務管理官 ☆
主任事務管理官
事務管理官 ☆

【総務グループの所掌事務】

総務担当：庶務全般・安全衛生・人事・文書管理・広報・防災ほか

経理担当：各種契約・収入・支出管理・施設営繕ほか

管理担当：財産管理（使用、貸付、入林手続等）・地元施設（共用林野・分収林）・森林警察ほか

【業務グループ】 総括森林整備官 ☆
主任森林整備官
森林整備官
主事

【業務グループの所掌事務】

経営担当：森林計画・立木販売・境界管理ほか

森林ふれあい担当：普及啓発・保護林ほか

森林育成担当：森林の育成・民有林への指導・普及ほか

資源活用担当：製品の生産及び販売・市況調査ほか

治山担当：治山事業の計画・実行・保安林手続ほか

土木担当：林道事業の計画・実行ほか

【土淵森林事務所】 主任森林整備官（土淵、上郷担当区） ☆
【附馬牛森林事務所】 主任主事（附馬牛担当区）
【宮守森林事務所】 森林官（宮守担当区）
【大迫森林事務所】 行政専門員（大迫、達曽部担当区）

【森林官等の所掌事務】

国有林野の管理、造林・製品・林道事業・産物の収穫等に関する調査、森林及び林業に関する知識の普及等の業務のほか、地域の窓口としての役割を担う。さらに、森林官は森林警察として司法警察員に指定されている。

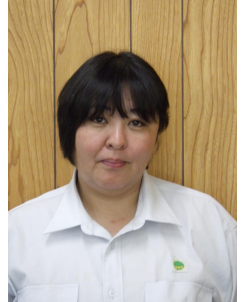
【職員数】 定員内19名、非常勤16名（事務系7、現場系7名、GSS2名）計35名（令和7年6月1日現在）

13 森林事務所・担当区の紹介

当支署の管内には、国有林野を管理する単位である「担当区」が6区域設定されており、遠野支署には4か所の森林事務所が設置されています。

(1) 土淵森林事務所（土淵担当区及び上郷担当区）

- ①職員 主任森林整備官 工藤 恵
- ②管轄区域 【土淵担当区】遠野市土淵町
【上郷担当区】旧上閉伊郡遠野町の区域、遠野市綾織町、同上郷町及び同青笹町
- ③特徴 明治時代から人工造林が行われてきた地域です。六角牛山や石上山（稜線から西側）なども管轄しています。
- ④沿革 土淵：栃内担当区を土淵担当区に統合（S60）
上郷：遠野担当区を上郷担当区に統合（S62）
上郷：上郷森林事務所を廃止（H25.3）
土淵：表記の「土淵」を「土淵」に改正（R2.1）



(2) 附馬牛森林事務所（附馬牛担当区）

- ①職員 主任主事 吉永 雄弘
- ②管轄区域 遠野市附馬牛町及び旧上閉伊郡松崎村の区域
- ③特徴 国有林野率が高く、天然林が多くみられる地域です。遠野市北部や、極僅かですが早池峰山周辺の一部を管轄しています。
- ④沿革 東禅寺担当区を統合（H6）



(3) 宮守森林事務所（宮守担当区）

- ①職員 森林官 栃木 玲
- ②管轄区域 遠野市小友町、同宮守町（大字下宮守の字黒日蔭国有林及び大字達曽部を除く。）及び花巻市東和町の一部（旧和賀郡谷内村に限る。）
- ③特徴 遠野市南西部と田瀬湖周辺の国有林を管轄し、アカマツやスギ等の人工林が多く分布します。
- ④沿革 鱒沢担当区を統合（S35～45年の間）、小友担当区を統合（H5）、小友支所を廃止（H12.3）



(4) 大迫森林事務所（大迫担当区及び達曽部担当区）

- ①職員 行政専門員 滝澤久崇
- ②管轄区域 【大迫担当区】花巻市大迫町
【達曽部担当区】遠野市宮守町の一部（大字下宮守の字黒日蔭国有林及び大字達曽部に限る。）及び花巻市東和町（旧和賀郡谷内村を除く。）
- ③特徴 旧花巻営林署の区域の東部を管轄し、花巻市から遠野市にまたがる里山から早池峰山周辺の高山まで多様な森林を管理しています。
- ④沿革 大迫：亀ヶ森担当区を大迫担当区に統合（S62）
達曽部：土沢担当区を達曽部担当区に統合（S60）
花巻事務所の廃止に伴い両担当区を遠野支署に編入（H13）
達曽部森林事務所を廃止（H25.3）



14 遠野支署の沿革

江戸時代に南部氏が直轄支配していた森林は、明治2年の版籍奉還により国の所有森林（官林）となり、その後、所有権が不明確な山林原野も官民の所有区分をしました（官有山林原野）。官林と官有山林原野は、明治14年に農商務省山林局の所管となり、明治30年の森林法制定により「国有林」となりました。

なお、明治23年に一部を皇室財産である御料林として宮内省御料局（後の帝室林野局）に移管しています。

また、明治19年に山林局の管区機関（後の営林局）として青森大林区署が、明治21年には岩手大林区署が設置されますが、岩手大林区署は組織が安定せず、明治36年に青森大林区署に再統合されました。

【遠野の国有林年表】

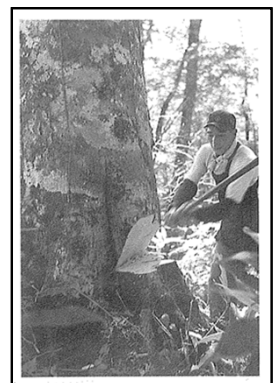
明治21(1888)年10月4日	農商務省山林局岩手大林区署遠野派出所が旧横田村砂場町（現新町）に開庁
明治25(1892)年9月19日	遠野小林区署に改称
大正4(1915)年	遠野小林区署新庁舎が旧遠野町本町（現六日町）に落成
大正13(1924)年12月	官制改正により大林区署が営林局、小林区署が営林署となり青森営林局遠野営林署となる。遠野営林署は遠野・釜石の2経営区を管轄
昭和4(1929)年	大出〜一本櫛国有林間に森林鉄道敷設（附馬牛林道）、S10年には遠野貯木場まで
昭和10(1935)年12月	遠野闊葉樹製材所を上組町に設立（現在の材木町）※森林鉄道で原木を輸送
昭和12(1937)年10月20日	御料林を管理する帝室林野局盛岡出張所の管轄区域を分割し遠野出張所新設
昭和16(1941)年3月1日	大槌営林署新設に伴い釜石経営区を分割
昭和22(1947)年4月1日	帝室林野局所管の御料林、内務省所管の北海道国有林を農林省所管国有林に統号（林政統一）。遠野営林署は遠野第一営林署に、帝室林野局東京支局遠野出張所は遠野第二営林署に改称
昭和23(1948)年1月1日	遠野第一営林署と第二営林署を統合して遠野営林署として第二営林署の庁舎を使用（本町庁舎は法務局に）9月にアイオン台風により遠野貯木場・森林鉄道壊滅
昭和24(1949)年6月1日	林野庁設置（農林省林野局を改組）
昭和32(1957)年	本内、沢内、水沢、遠野の4経営区を統合して北上川中流経営区となる。
昭和35(1960)年	森林鉄道（附馬牛林道）廃止（猿ヶ石川支線は37年に牛馬道に格下げ）
昭和51(1976)年11月29日	新庁舎落成記念式典挙行（新庁舎の竣工は11月15日）
昭和58(1983)年	遠野国産材まつりが始まる。
昭和63(1988)年5月25日	開庁100周年記念行事（記念植樹・祝賀会等）挙行
平成11(1999)年3月1日	国有林野事業の抜本的改革。7森林管理局98森林管理署14支署体制に。遠野営林署は東北森林管理局青森分局岩手南部森林管理署遠野支署に再編改組
平成13(2001)年8月1日	花巻事務所（旧花巻林署）の廃止（7/31）に伴う管轄区域の整序により、大迫担当区及び達曽部担当区を遠野支署に編入、旧湯田署横川目担当区の一部（旧和賀郡中内村の区域）を達曽部担当区に編入
平成16(2004)年3月31日	青森分局が廃止され東北森林管理局岩手南部森林管理署遠野支署（4／1）に
平成23(2011)年3月11日	東日本大震災発災。後方地域から被災地への中継基地として支援業務を実施
平成25(2013)年3月31日	上郷森林事務所、達曽部森林事務所を廃止（組織上の廃止
平成29(2017)年3月	耐震・改装工事完了
平成30(2018)年10月4日	開庁130周年



昭和49年頃の東館庁舎



17 遠野営林署開庁100周年記念祝賀会



ブナの伐り出し作業

○庁舎の変遷



明治21年に開庁した遠野派出所の庁舎（砂場町）
（現在の新町。自転車が配備されている。）



大正4年に落成した遠野小林区署庁舎（本町）
（現在の六日町。遠野高校北側付近）



昭和12年に帝室林野局東京支局遠野出張所として新築された石倉町（現東館町）の庁舎。戦後は遠野営林署庁舎となり昭和51年に現庁舎が新築されるまで使用された。庁舎は現在よりも車道側にあった。正門左側のマツは今も青々としている。



現在の庁舎 昭和51年11月15日 竣工
平成29年3月 耐震工事完了

○森林鉄道（附馬牛軌道）

「群峯 結成40年記念誌 全林野遠野営林署分会（1993）」より



遠野貯木場（昭和23年以前の画像）



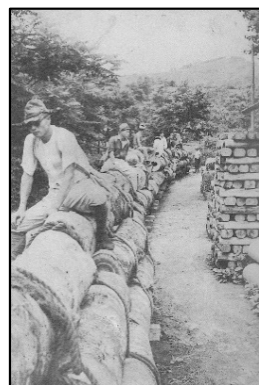
運行中の森林鉄道・上大出（昭和31年6月25日）



上の写真と同時期に撮影したものか？



地域の足として活躍



戦後間もない写真

お問い合わせ先

署 等 名 称	郵便番号	住 所	電 話 番 号
岩手南部森林管理署遠野支署	028-0515	岩手県遠野市東館町 7-39	0198-62-2670 050-3160-5925
土淵森林事務所 (土淵担当区及び上郷担当区)	028-0515	岩手県遠野市東館町 7-39 (支署庁舎内)	0198-62-3849
附馬牛森林事務所 (附馬牛担当区)	028-0661	遠野市附馬牛町上附馬牛第一二地割67-2	0198-64-2024
宮守森林事務所 (宮守担当区)	028-0304	遠野市宮守町下宮守二八地割40-2	0198-67-2022
大迫森林事務所 (大迫担当区及び達曽部担当区)	028-3203	花巻市大迫町大迫第四地割29-4	0198-48-3215

※ 土淵森林事務所が東館町の遠野支署庁舎内に移転しました。



森林管理局広報誌



遠野支署HP



附馬牛森林事務所



宮守森林事務所



大迫森林事務所



国民の森林・国有林

林野庁

令和 7 年 6 月 16 日 発行
岩手南部森林管理署遠野支署